

沖縄県南部林業事務所紹介

沖縄県南部林業事務所 所長 金城克明



南部林業事務所は、県人口の約 82%が集中し都市化が進んでいる沖縄本島の中南部市町村をはじめ、沖縄本島南部周辺離島地域の町村からなる 8 市 7 町 9 村 (24 市町村) を管内にかかえ、総面積は県全体の約 28%を占めています。

森林の状況は、本島中部うるま市の一部と久米島、慶良間諸島など離島に偏在しており、水源のかん養、潮害・防風防備等、県土の保全並びに生活や自然環境保全的な性格が強く、森林の約半分が保安林や国立公園等の制限林です。また、森林面積は県全体の約 12%、森林率は約 21%と県全体の約 47%とに比べると低く、人工林に至っては約 12%と他地域^{*1}に比べ最も低い状況です。

特に本地域は、荒廃した森林の解消のため緑化推進の展開と、造林、治山事業等の実施により森林は蘇りつつありますが、依然として無立木地や荒廃地が偏在しており、その解消が必要となっています。

なかでも島嶼県であるため一年を通して潮害の影響を受け、特に夏季の台風と冬季の季節風が農作物等に大きな被害を与えていることから、沿岸部の防災林造成事業、保安林緊急改良事業等に加え離島地域における水資源の確保を図るための水土保全施設の設置等、治山事業の要望が多く予算の約 8 割を占めております。

また、緑化推進のため平成 20 年度から「緑の美ら島」の創生を目指し 100 年を見据えた「全島緑化事業」が始まり、同事業の「『一島一森』で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに各島々（市町村・地域等）で地域・県民参加による森林や緑地づくりを推進しているところです。

さらに、県内人口の多くを抱え消費地として重要な地域でもあることから消費者に対して、各種イベントへの参加を通して県産材・林産物の需要拡大の取組みや、小学校を対象にした「木育出前講座」の実施など、森林・林業への理解と醸成を図るための啓蒙普及活動を積極的に実施しております。

ここで本県の特徴ある事業として「林野不発弾等事前探査」を紹介します。当該事業は本県が先の大戦で激戦地となった経緯から人工造林や防災林造成等の事業実施の際に事前に不発弾等の磁気探査を行い事業の安全確保を図る事業です。今年度も防災林造成事業箇所等で 1 トン級不発弾^{*2}（写真）が見つかり全国に報道されました。



紹介した事業の外にも森林病虫害防除事業、林業構造改善事業、鳥獣保護事業等の各種事業に加え、平成5年度に開催された第44回全国植樹祭の跡地を整備した「沖縄県平和創造の森公園」の管理などを実施し沖縄中南部地域の森林・林業・緑化行政に取り組んでいます。

- ※1 地域森林計画は3森林計画区分（北部地域、中南部地域、宮古八重山地域）になる。
- ※2 1990年以来23年ぶり本土復帰以降6件目。



阿波連（渡嘉敷島）